

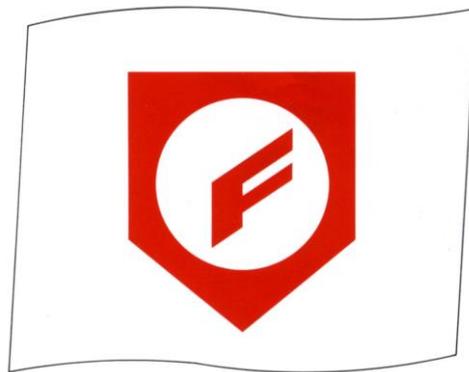
第 106 回全国高等学校野球選手権沖縄大会

令和 6 年 6 月 22 日（土） ～ 7 月 21 日（日）

主 催 : 一般財団法人
沖縄県高等学校野球連盟
: 朝 日 新 聞 社
後 援 : 沖縄県教育委員会

会 場 : 沖縄セルラースタジアム那覇
: コザしんきんスタジアム
: Agre スタジアム北谷
: ユニオンですからスタジアム宜野湾

大会要項



2024 年 5 月 13 日

一般財団法人

沖縄県高等学校野球連盟

第 106 回全国高等学校野球選手権沖縄大会 大会要項

主催・一般財団法人 沖縄県高等学校野球連盟
・朝日新聞社

後援・沖縄県教育委員会

1. 期 日 令和6年6月22日(土) ～ 7月21日(日) 雨天順延

2. 会 場 沖縄セルラースタジアム那覇 那覇市奥武山町4-2-1
コザしんきんスタジアム 沖縄市諸見里2-1-1
Agreスタジアム北谷 北谷町美浜2
ユニオンですからスタジアム宜野湾 宜野湾市真志喜4-2-1

3. 大会申し込み 本大会に参加を希望する加盟校は、沖縄県高野連 HP (<http://www.kouyaren-okinawa.jp/>) に掲載されている大会参加エントリー用紙に必要な事項を記入し、沖縄県高野連事務局まで FAX にて申し込むこと。**※不参加の学校も含め、加盟校は全校 FAX して下さい。**

4. 申し込締切り 令和6年6月3日(月) 16時までにエントリー用紙を FAX にて下記まで送信する。
沖縄県高野連事務局 FAX 098-890-3158

5. 抽 選 会 令和6年6月11日(火) 午後2時
会場：かでな文化センター 中頭郡嘉手納町字嘉手納 588 番地

- ①参加者は各校2人以内(主将、責任教師、監督のうち2名以内)および大会役員。
開会式でプラカード係を務める生徒がいれば、その生徒1人も参加すること。
- ②抽選にあたってはシード制を採用する。(エナジック・興南・日本ウェルネス沖縄・宜野座)

6. 選手資格証明書 参加校は、野球競技者登録システム「野球ねっと」で大会申し込み申請を行い、システムから出力される選手資格証明書に学校長および学校医印を押印後、PDFデータ(カラー)として1部を沖縄県高野連事務局のメールアドレスまで、電子メールにて添付送信すること。

処理期限(大会申し込み申請およびPDFのメール送信〆切)

令和6年6月19日(水)正午12時まで。 **この日時以降は、選手変更はできません。**

※選手資格証明書の提出(紙媒体)の提出はなしです。

7. 大会諸経費 ①入場整理券(大人600円、中高生200円)をもって充当する。
②中高生の団体の入場整理券については、一人100円とする。
③剰余金が生じたときは、本連盟運営費に繰り入れ、不足の時は同運営費から充当する。
※P.2に入場料等に関する事項(詳細)を示します。

8. 大会組織 ①参加校は日本高等学校野球連盟に加盟している学校代表チームによって行う。
及び運営 ②主催者で運営委員会を組織し、大会運営に万全を期す。
③大会役員は運営委員会で適任者を選び委嘱する。審判委員は県高野連審判部が担当する。

9. 選手登録変更 選手資格証明書提出後の選手変更は受け付けません。

10. 表彰及び派遣 ①優勝校へは賞状、優勝旗、優勝楯、メダルを授与する。
②準優勝校へは賞状、準優勝楯、メダルを授与する。
③本大会の優勝校を、8月7日(水)から17日間、阪神甲子園球場で開催される、
第106回全国高等学校野球選手権大会に沖縄代表として派遣する。
11. 大会本部 ①県高野連事務局 ☎ FAX 098-890-3158 大会前又は試合のないとき
②朝日新聞那覇総局 ☎ 098-867-1972 ・ FAX 098-863-8545
12. 開会式 令和6年6月22日(土) 午前9時00分 沖縄セルラースタジアム那覇
▼雨天時は、沖縄セルラーパーク那覇で行う。
13. 閉会式 決勝戦終了後、優勝、準優勝の両校で行う。(沖縄セルラースタジアム那覇)

※**連合チーム(レンタル含む)**での参加を予定している学校は、「連合チームによる大会参加承認申請書」を5月16日(木)16時までに(期限厳守)、沖縄県高野連事務局宛に提出して下さい。
とりまとめて日本高野連へ申請します。

入場料等に関する詳細

- (1) 入場料は、大人600円、中高生200円、小学生以下は無料。
※試合のある学校の学校職員は、「職員証」を提示していただければ、入場料は徴収いたしません。
(「職員証」は、試合がある当該校の職員であることが証明できれば、その様式等は問いません)
※一般生徒(試合がある当該校の生徒)が20人以上の場合、各学校で作成した「団体券」を提示すれば、入場料を一人100円とする。
- (2) 小中高の野球チームは、希望すれば団体で観戦できる。ただし、観戦場所は大会役員の指示に従うこととし、1団体に対して1人の大人(責任者)がチームの掌握にあたり、感染対策や熱中症、ケガや事故等の予防に責任をもつこと。責任者1人を含め入場料は徴収しない。
※団体とは、原則として、児童・生徒20人以上とする。
- (3) **身体障がい者手帳の提示のあったものについては、入場券は不要とする。(付添人1名含む)**
- (4) 第一試合が終了したら、原則として払い戻しは行わない。
※第一試合が「継続試合」になった場合は、払い戻し等の対応を行う。

第 106 回全国高等学校野球選手権沖縄大会 細則

1. 試合規則は、2024年公認野球規則と大会特別規定により運営する。
2. 選手資格は、令和6年4月2日現在で満18才（平成18年＝2006年4月2日以降の出生者）以下の者。
3. 大会期間中の不測の負傷または疾病に対して、主催者は応急の手当を施す他は責任を負わない。
4. 第1試合の出場チームは、試合開始90分前には所定の球場に到着し、大会本部よりオーダー用紙を受け取り記入後、直ちに提出すること。その後放送により責任教師・主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。（オーダー用紙交換は試合開始50分前に行なう。）
5. 第2試合目以降の出場チームは、球場到着後、大会本部でオーダー用紙を受け取り、4回終了までに大会本部に提出すること。オーダー用紙交換は5回終了後に行なう（放送を行なう）。責任教師と主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。選手はいつでも試合ができるよう準備をしておくこと。
6. ベンチサイドは、抽選番号の若いチームを一塁側とする。
ベンチには登録の責任教師1名、副責任教師1名、監督1名、選手20名、記録員1名の計24名以内とする。
7. 責任教師か副責任教師がノックした後は、平服に着替えベンチに入ること（高野連スタッフシャツも可）。
8. 試合前のシートノックは7分間。ノック時の補助選手は5名までとし、必ずヘルメットを着用すること。又、登録メンバー以外は、ノックを受けたり守備に入ってはいけない。
9. シートノック時のノッカーは、選手と同じユニフォームを着用し、黒または白のスパイクおよびシューズとする。補助選手も試合用ユニフォームを着用すること。
10. 記録員は男女にかかわらず、自校の制服を着用すること。複数の記録員のいる場合は毎試合代わってもよい。
11. 打者・走者ともに危険防止のため、必ずSGマーク（経産省認可）両耳付きヘルメットを着用する。
12. 捕手は防護用ヘルメット（SGマーク付）とスロートガード（のど部分の防護具）、カップを必ず使用すること。また、練習時を含め、捕手は座って投球を受けるときは必ず捕手用具一式を着用すること。
13. 試合中、攻守交代は全力疾走に徹すること。
14. 攻撃側の選手は、次打者・ランナーコーチ以外はベンチから出ないこと。次打者席には、必ず次打者が入り、投手が投球姿勢に入ったら素振りを止める。危険防止のため、グラウンド内にいる全ての選手（特に次打者、ブルペンの選手）は投手が投手板に位置したならばプレイに注目すること。
15. ベンチ内のメガホンは1個のみとする（監督のみ使用）。
16. グラウンドに入ってアップを開始するときは、試合用のユニフォームを着用すること。ただし、第1試合目のチームに関しては、ランニングまでは、チーム統一のシャツを認める。キャッチボールからは、ユニフォームとする。
人員は25名以内とする。
17. 危険防止のため、球場内におけるフリーバッティング、ハーフバッティングは禁止する。また、球場内においてのウォーミングアップ及びランニングで外野の芝生を使用する際は、アップシューズを使用すること。
18. 試合中、ベンチ前でのキャッチボールは2組（4人）まで並列とし、ゴロの捕球練習は認めない。
19. 野球用具の使用については、日本高等学校野球連盟の用具使用制限に適合したものを使用すること。
《応援団について》
 1. 応援は高校野球にふさわしいものであること。品位と節度をもったものでなければならない。
 2. 大会期間中の応援団の行動は、責任教師がその責任を負う。
 3. 手指消毒など、基本的な感染拡大防止に努めること。
 4. ブラスバンドおよび音源を利用したの応援を認める。ブラスバンド以外の太鼓については、洋太鼓・和太鼓いずれかを1個とする。（ただし、音源利用応援の許可は、今大会までとする。）
 5. 音源を利用する場合、音声出力機器（スピーカー等）の設置や音量等については大会本部の指示に従うこと。なお、電源は各チームで準備し、会場の電源は使用しないこと。
 6. 応援団は、試合中は場内の整理と感染拡大防止、試合終了後はスタンドの清掃と消毒に協力する。
 7. 個人名や校名を記入したノボリ等、テープ・紙ふぶき等、タオル等を振り回しての応援は禁止。
 8. 応援団の校章旗・横断幕等は指定場所に掲げること。

大会特別規定

1. シートノックは試合前、大会本部の指示に従い行うこと。制限時間は7分間とする。但し、時間の都合で、短縮または行わないこともある。シートノックの補助員5名以内と補助ノッカー(登録外)1名を認める。
2. 本大会はタイブレーク制度を採用する。タイブレークは10回、無死1塁・2塁からとし、打順は9回終了時の打順を引き継ぐものとする。(決勝戦もタイブレークを適用する)
3. 1週間500球以内の投球とする。
4. 本大会では、得点差によるコールドゲームを次のとおり定める。
 - ①5回以降10点以上、7回以降7点以上の得点差が生じた場合。
 - ②決勝戦では、コールドゲームを適用しない。
5. 降雨中断後、30分毎に判断し、グラウンド整備を行ない90分をめどに試合続行が可能な場合は再開し、不可能と判断した場合は、審判委員が当該試合の当日の試合の打ち切りを命じ、継続試合とする。継続試合の日程や球場については、主催者が決定する。
6. 最終試合の開始時刻は日没2時間30分以前とするが、当日の天候その他を考慮して主催者が決定する。また、日没15分前からは新しいイニングに入らない。日没、その他の事情で試合の続行が不可能になった場合は、審判委員が当該試合の当日の試合の打ち切りを命じ、継続試合とする。継続試合の日程や球場については、主催者が決定する。

※継続試合については決勝戦でも適用する。
7. 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判委員が判断した時は、相手チームに事情を説明し臨時の代走者を許可することができる。この代走者は試合に出場している選手に限られ、チームに指名権はない。
 - ・臨時代走はその代走者がアウトになるか、得点するか、またはイニングが終了するまで継続する。ただし、塁上にいる臨時代走者が次打者となるケースにおいては、その臨時代走者に代えて打撃を完了した直後の者を新たな臨時代走者とする。
 - (1) 打者が死球などで負傷した場合
投手を除いた選手のうち、打撃を完了した直後の者とする。
 - (2) 塁上の走者が負傷した場合
投手を除いた選手のうち、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者とする。(参考) 臨時代走者の記録上の取り扱いは、盗塁、得点、残塁などすべてもとの走者の記録として扱われる。
8. 審判委員の判定には、絶対に抗議することはできない。但し、ルール適用の過ちがおきた場合は申し出ることができる。疑義を申し出る場合は主将、伝令、または当該選手に限る。
9. 審判委員へのアピールは、必ず主将及びそのプレーの当事者が行なうこと。
10. 試合中トラブルが生じ、試合続行が不可能な場合は、トラブルを引き起こしたチームを敗者とし、没収試合とする。
11. 打者がバッターボックスに入る時や投手が審判委員からボールを受け取る際は、帽子を取って礼をする必要はない。
12. 試合中は、ベンチ入りできない者(登録選手以外の部員・OB・保護者等)をベンチや選手控え室に出入りさせたり、ベンチ周辺に近づけない。
13. 携帯電話はベンチに持ち込まない。
14. 走者やベースコーチ等が捕手のサインを見て、声やジェスチャーで打者にコースや球種を教える等の行為を禁止する。
15. サイズの大きい走者用手袋の使用とグラブの手首へのリストバンド装着は認めない。

第 106 回全国高等学校野球選手権沖縄大会 開催細則

1. 開 会 式

- 1 令和6年6月22日(土) 午前9時00分、沖縄セルラースタジアム那覇
(雨天時は、沖縄セルラーパーク那覇で行う)
- 2 参加チームの登録された責任教師(正副)、監督及び選手は必ず参加すること。
- 3 各チームのユニフォーム(帽子、アンダーシャツ、ストッキング等を含む)は規定のとおり同一に揃える。
(※入場行進はシューズで行う。)
- 4 選手の背番号は登録のとおりにする。
- 5 選手は8時50分までにユニフォーム着用のうえ、所定の場所でグラウンドに向かって右側から前年度優勝校の
沖縄尚学高校に続いて、抽選番号の若い順に各チーム主将を先頭にして身長の高い順に**四列及び三列縦隊**に整
列する。以後は、選手係の指示に従う。
- 6 大会役員、審判委員、来賓及び各学校の校長、責任教師(正副)、監督は8時55分にバックネット前に整列
する。
- 7 **プラカード係は各学校のマネージャー(男女問わない)に依頼する。学校の制服、チームの帽子に統一する。**
(マネージャーのいないチームは男子部員も可)

開会式次第	進	行	瀬底智樹	(高野連総務部長)
1 ファンファーレ	(CD)			
2 選手入場 (行進曲)	選手係	川上琢也	(高野連技術部長)	
	先導	〇〇〇〇	(〇〇高校校野球部員)	
	先導	〇〇〇〇	(〇〇高校校野球部員)	
			※給水タイム	
3 開会宣言	大会副会長	外間昌繫	(高野連副会長)	
4 国旗掲揚				
5 大会旗掲揚	小禄高等学校合唱部			
6 優勝旗返還	前回優勝校	足立伶鳳	(沖縄尚学高校野球部主将)	
7 大会長挨拶	大会長	眞榮田義光	(高野連会長)	
8 共催団体挨拶	大会副会長	伊藤和行	(朝日新聞那覇総局長)	
9 祝辞	教育長	半嶺満	(県教育委員会教育長)	
10 選手宣誓	◎ <u>組合せ抽選会で、選手宣誓を希望する学校の主将が行う。</u> (選手宣誓を希望する主将が複数ときは抽選を行う) ※希望者がいないときは、宣誓クジを引き当てた学校の主将が行う。			
10 閉会式通告				
11 選手退場	※シートノック後 育成功労賞伝達表彰式(嘉陽宗雄様) 始球式(10時30分頃予定) 少年野球チームから募集			

2. 閉 会 式 (沖縄セルラースタジアム那覇)

- 1 決勝戦終了後、優勝チーム、準優勝チーム、大会役員、審判委員、来賓で行う。
- 2 決勝戦が終わり次第、両チームの選手は投手板を中心にバックネットに向かって一列横隊に整列する。
- 3 大会役員、審判委員、来賓及び両校の校長、責任教師(正副)、監督はバックネット前に整列する。

閉会式次第	進	行	瀬底智樹	(高野連総務部長)
1 開	会			
2 成	績	発	表	
3 表	彰	大	会	長 眞榮田義光 (高野連会長)
4 大	会	長	挨	拶 大会長 眞榮田義光 (高野連会長)
5 激	励	の	こ	と ば 大会副会長 伊藤和行 (朝日新聞那覇総局長)
6 国	旗	並	び	に 大会旗降納
7 閉	会	宣	言	大会副会長 遠越学 (高野連副会長)
				※ 閉会式後、優勝、準優勝チームはダイヤモンドを一周する。

第 106 回全国高等学校野球選手権沖縄大会 競技役員

顧問	新屋太郎 宜野座嗣郎 國吉眞介 宮里景眞 狩俣幸夫 赤嶺研雄 我如古清 玉城 崇 志良堂芳男 前新健 神谷孝 森田邦弘 前新出 上原昇 又吉忠 岩崎勝久 川畑三矢 半嶺満 (県教育委員会教育長) 伊藤和行 (朝日新聞社那覇総局長) 比嘉洋 (毎日新聞那覇支局長)
大会 会長	諸見謝 尚 (県教育庁保健体育課長) 参加校 校長
大会 副会長	眞榮田義光 豊見城高校 (県高野連会長) 外間昌繫 沖縄工業高校 (県高野連副会長) 遠越学 名護高校 (県高野連副会長) 平良博志 嘉手納高校 (県高野連副会長) 伊藤和行 朝日新聞社 (朝日新聞那覇総局長)
運営委員長	前川等 浦添高校 (県高野連理事長)
運営委員長補	町原尚忠 中部商業高校 (県高野連副理事長)
運営副委員長	宮里淳 浦添工業高校 (県高野連常任理事) 渡久地政国 北山高校 (県高野連常任理事) 嘉数節 浦添高校 (県高野連常任理事) 島袋春樹 コザ高校 (県高野連常任理事) 名渡山直子 与勝高校 (県高野連常任理事)
運営委員	
総務部部長	瀬底智樹
総務部副部長	國吉大志 岸本拓馬 末吉昇一
技術部部長	川上琢也
技術部副部長	福仲直人 安富勇人 中本昌弥
審判部部長	多嘉山太
審判部副部長	島袋俊哉 山城和也 大城康弘 上原拓
記録情報部部長	神里大一
記録情報部副部長	佐久原大志 仲里裕太 豊原啓人

第 106 回全国高等学校野球選手権沖縄大会

審判委員

審判委員長 多嘉山 太 (県高野連審判部部長)
 審判副委員長 島袋 俊哉 (県高野連審判部副部長)

審判幹事 平良章次 島袋恭一 国仲吉川 町田幸男
 譜久村淳一 安富薫 比嘉安孝 玉代勢秀人
 座喜味治 国仲直彦 玉城健

審判委員 沖縄県高等学校野球連盟 審判部

多嘉山 太	西銘健一	島袋俊哉	上原拓
平良章次	島袋恭一	国仲吉川	町田幸男
譜久村淳一	安富薫	比嘉安孝	玉代勢秀人
座喜味治	国仲直彦	玉城健	喜納清一
西村洋	真壁朝善	喜友名功	宮里一
我喜屋宗彦	澤岷安邦	兼次博	上原浩
嘉数正重	島袋英治	玉城誠	大城幸光
仲本盛和	金城明	下里大弥	大浜拓郎
平田英樹	平良朋広	山田健登	西野僚真
野原大輝	西江大成	具志堅興律	嘉陽宗雄
天願恒	平良博志	野原潤一	嶺井政彦
中村健	外間一先	田原伸繁	津留直樹
親川聖	平良隆訓	眞玉橋元博	嘉数節
前川等	伊良波泰	吉元嘉邦	新田伸
知名淳	島袋春樹	宮里淳	山城明男
大川基樹	照屋圭二郎	上間理博	金城達也
喜瀬民男	照屋拓己	外間勝	奥田誠吾
浦添広志	川満亨	町田宗毅	石塚年勝
知念正仁	大蔵宗元	金城聡	眞玉橋長郎
安座間竜作	大城康成	東亮	島袋善之
田里友哉	大城盛隆	玉城幸哉	長島誠
川上琢也	山城和也	濱元良人	徳山篤史
國吉大志	大城康弘	大城浩二	平良栄二
宮城岳幸	津山嘉都真	渡久地政国	安富大志
神里大一	宮里健二	山里貞俊	上原健吾
洲鎌弘樹	高良耕平	豊原啓人	仲里真澄
大嶺祐介	伊藝修策	仲本賢一郎	安里大作
與那城吾朗	當銘樹	金城裕介	佐久原大志
大嶺眞次	岸本拓馬	大城一基	安富勇人
川平優次	赤堂秀馬	松元輝	宮里友也

一般財団法人 沖縄県高等学校野球連盟

会 長 眞 榮 田 義 光 殿

高等学校

校 長

印

VTR・写真撮影等撮影許可願い

標記の件、本校の（資料保存用・アルバム用）に、下記要領にて撮影いたしたく許可
下さいますようお願い致します。

なお、上記目的以外に映像を有償頒布したり、主催者に無断で他の目的には使用致しませ
ん。

記

1. 大会名 第106回全国高等学校野球選手権沖縄大会
2. 撮影期日 令和6年 月 日（ ）～ 月 日（ ）
3. 撮影項目 VTR撮影 ・ スチール（写真）撮影
4. 撮影委託業者
 - ・ 業者名
 - ・ 代表者名
 - ・ 撮影者氏名
 - ・ 連絡先 ・ 会社 :
 - ・ 携帯 :

※学校長印を押印後、PDF データー（カラー）として、沖縄県高野連事務局のメールアドレス
まで、添付送信して下さい。